

**AMI PHOTO**

**LOGO DESIGN**

**2024.05.08**

円はカメラのレンズを意味しています。  
aMiのaをモチーフとして入れることで、サービスが映し出す世界を、ロゴの鮮やかなグラデーションは、レンズに映る様々な瞬間を表しています。  
どんな瞬間もしっかりと記録に留める、カメラという媒体の特性を表現しています。

「撮って」をもっと。



AMI PHOTO

## Logo / Composition

---

ロゴの構成要素は以下のとおりです。  
これらをひとまとめにして「ロゴ」や「ロゴマーク」と呼びます。

### タグライン

サービスが提供する価値や想いを分かりやすく表した短いフレーズです。AMI PHOTOではステートメントを入れています。

### シンボル

いわゆる「マーク」と呼ばれるものです。想いやビジョンなどを形に表したものです。

### ロゴタイプ

ロゴの「文字」の部分を指します。



Logo / Logo Mark

ロゴには組方向と組み合わせが存在します。

AMI PHOTO / Regular



AMI PHOTO / Tagline



AMI PHOTO / 法人向け



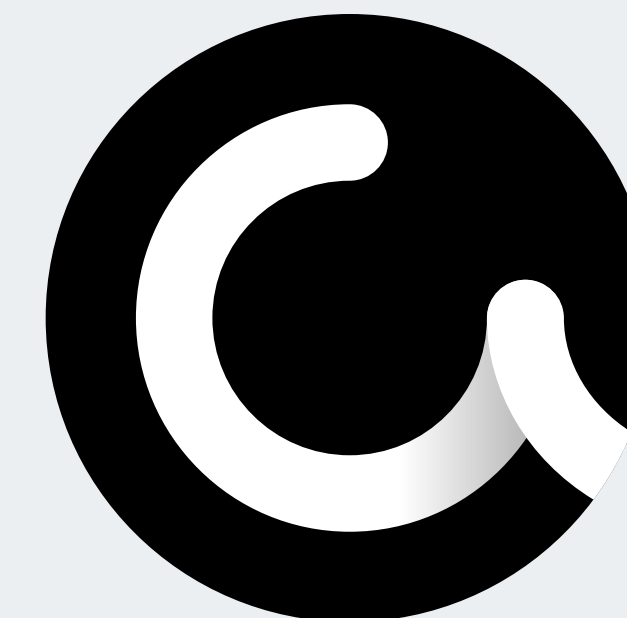
## Logo / Symbol

---

シンボル単体での活用も可能ですが、AMI PHOTOとしての認知が下がるような使い方は避けてください。(他社・AMI PHOTO外へのメディア掲載時にシンボルのみで利用する) AMI PHOTOの説明文やテキストなどとセットで用いるようにしてください。

### 想定される用途

Webサイトなどのファビコン  
アプリのロゴ



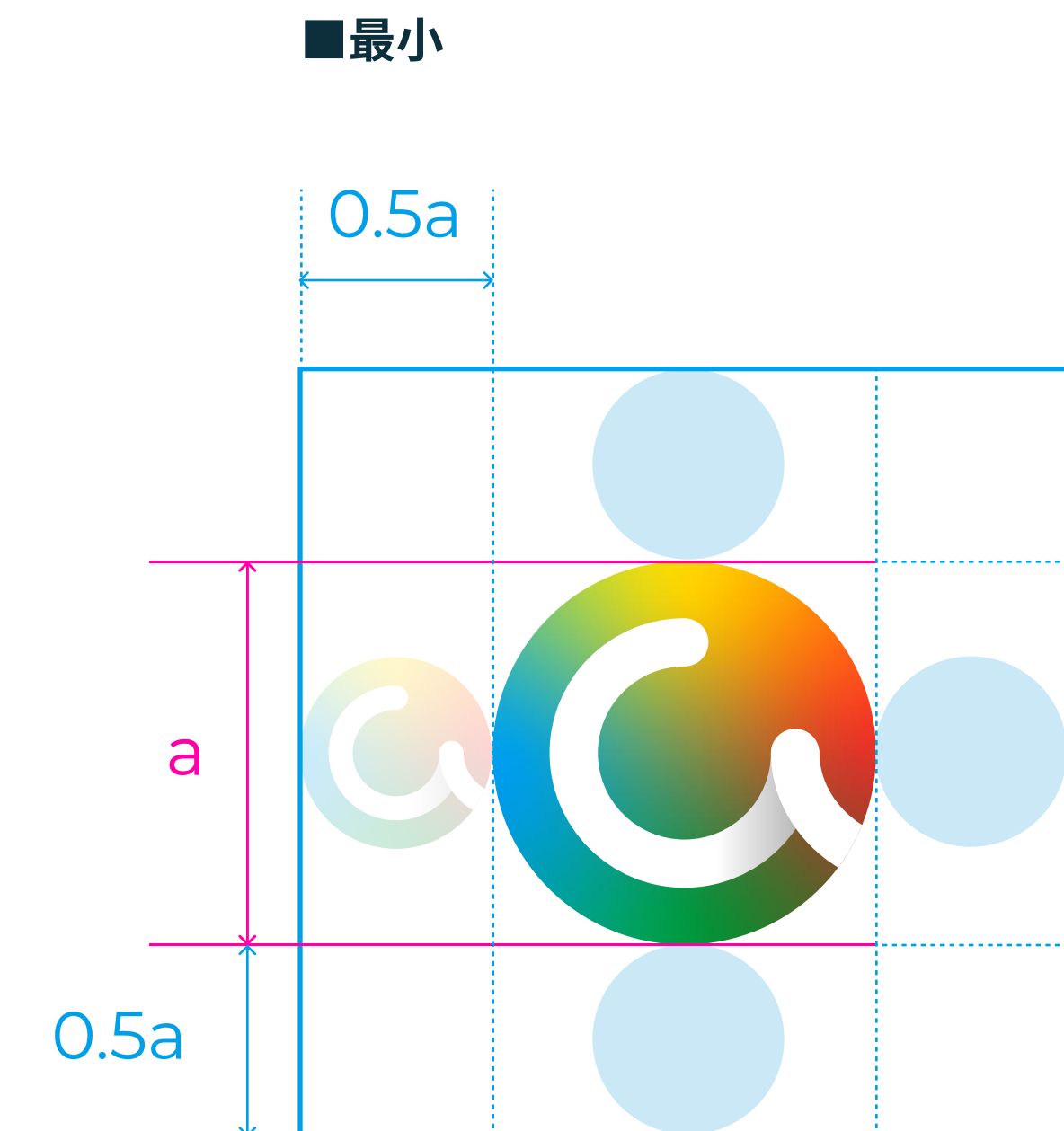
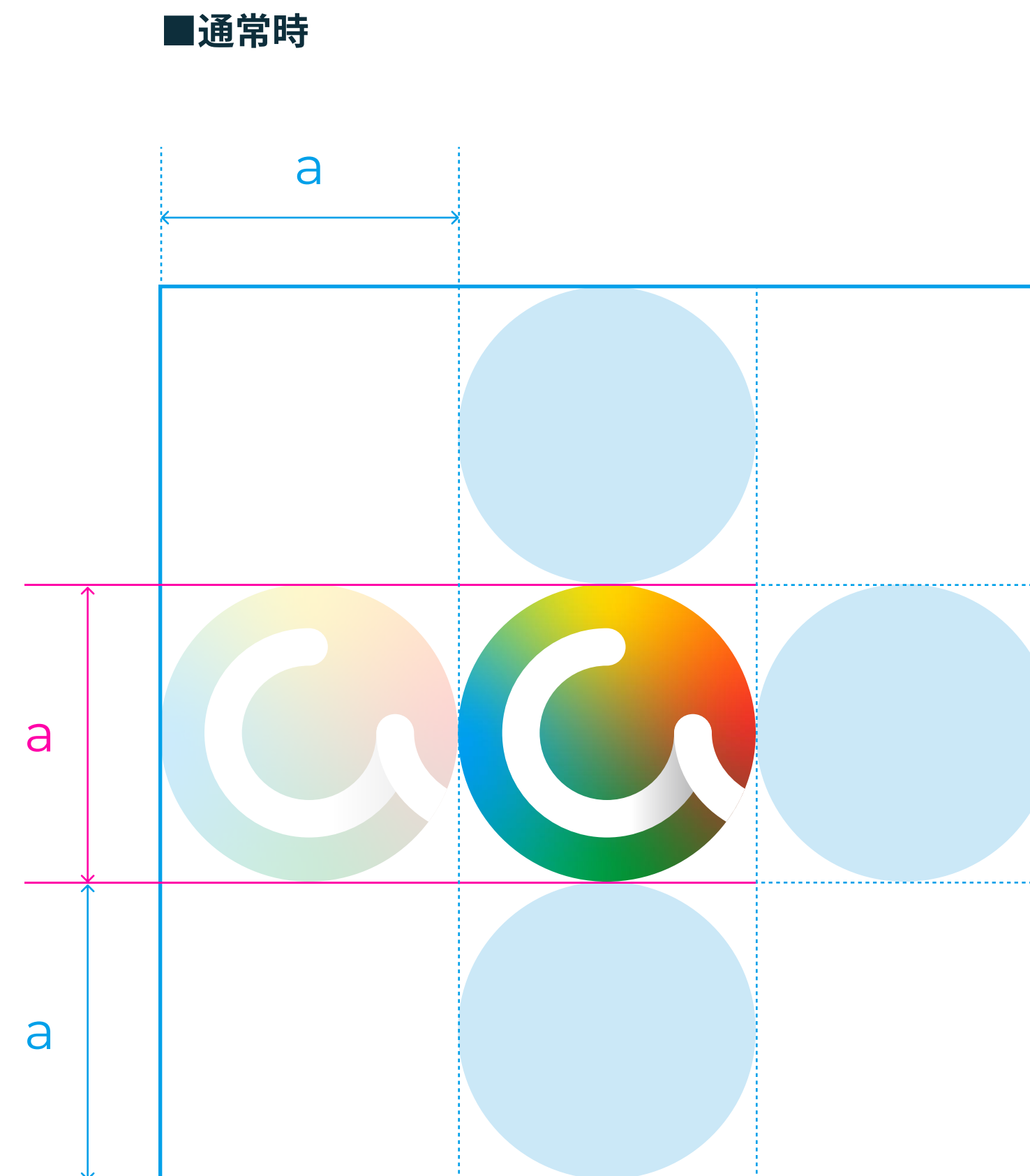
## Logo / Isolation / Symbol

### ■アイソレーション(保護エリア)とは

アイソレーションとは、ロゴの視認性確保のために、周囲に十分な余白を設けることです。この領域内に他のデザイン要素や文字などは表示しないようにしてください。

AMI PHOTOのロゴでは、シンボルのサイズを基本的な余白とします。

余白が十分に確保できる場合は「通常時」を使用し、確保できない場合は「最小」を利用してください。



## Logo / Isolation / Logo

### ■アイソレーション(保護エリア)とは

AMI PHOTOのロゴでは、シンボルのサイズを基本的な余白とします。

余白が十分に確保できる場合は「通常時」を使用し、確保できない場合は「最小」を利用してください。

このルールは「タグライン」「法人向け」いずれも、どの組み方でも共通です。

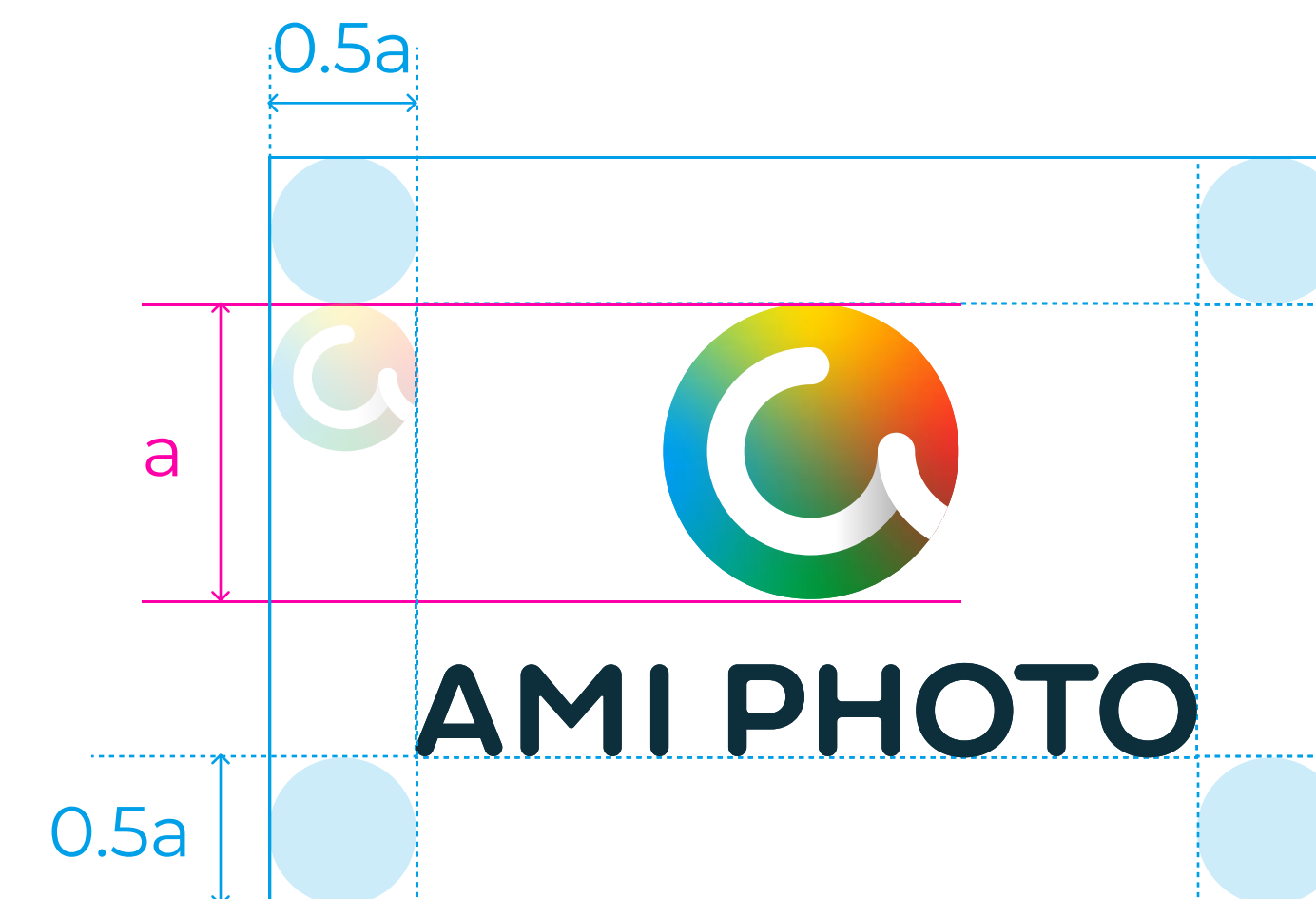
ロゴの天地・左右の端を基準とし、シンボルのサイズ分余白を確保してください。

今回は一例として、通常のものを示します。

### ■通常時



### ■最小



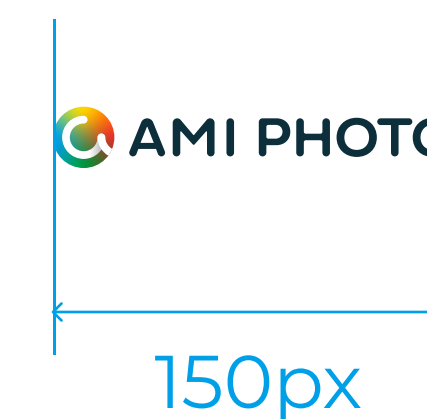
## Logo / Size

### ■最小サイズ

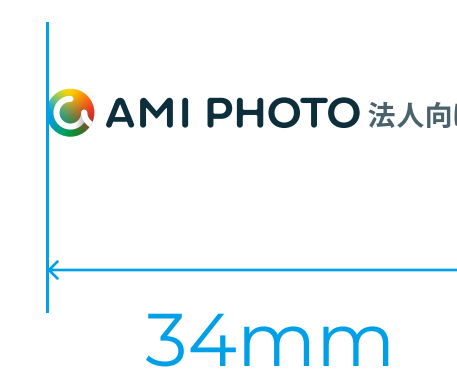
視認性を保つため、最小サイズに気をつけて使用してください。タグラインなしのものは、もう少し小さなサイズでも構いませんが、視認性にだけ気をつけるようにしてください。

特に、タグライン付きのものは、視認できる最小のサイズを規定しています。これ以上小さくなる場合は、タグラインなしを検討してください。

### ■最小サイズ (Web)



### ■最小サイズ (印刷物)



## Logo / Color

---

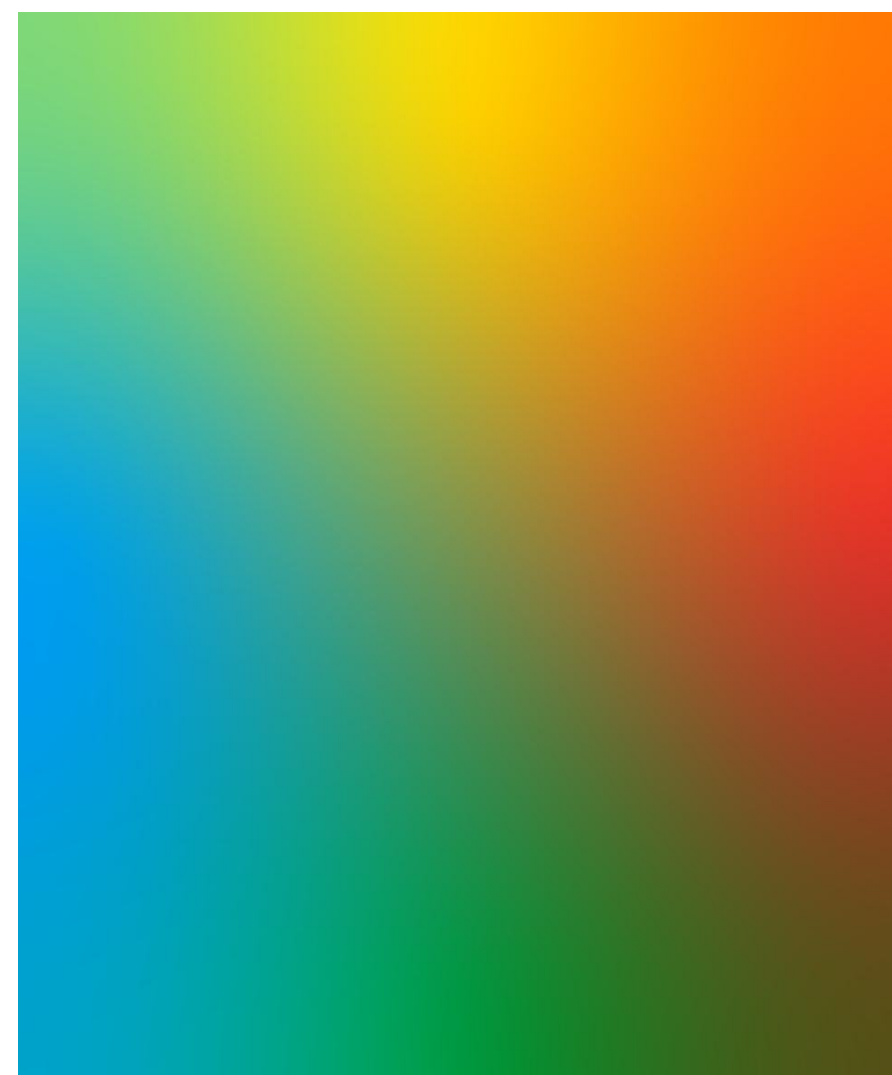
### ■ロゴの構成色

色はブランドカラーと同様です。

デジタル (RGB) ・印刷物 (CMYK) で、発色が異なるため、使用する媒体に応じて適切な色味で使用してください。

ロゴデータはCMYK・RGB両方を用意しています。自身で変えず、必ず正しいデータを使用してください。

### ▼ Brand Color

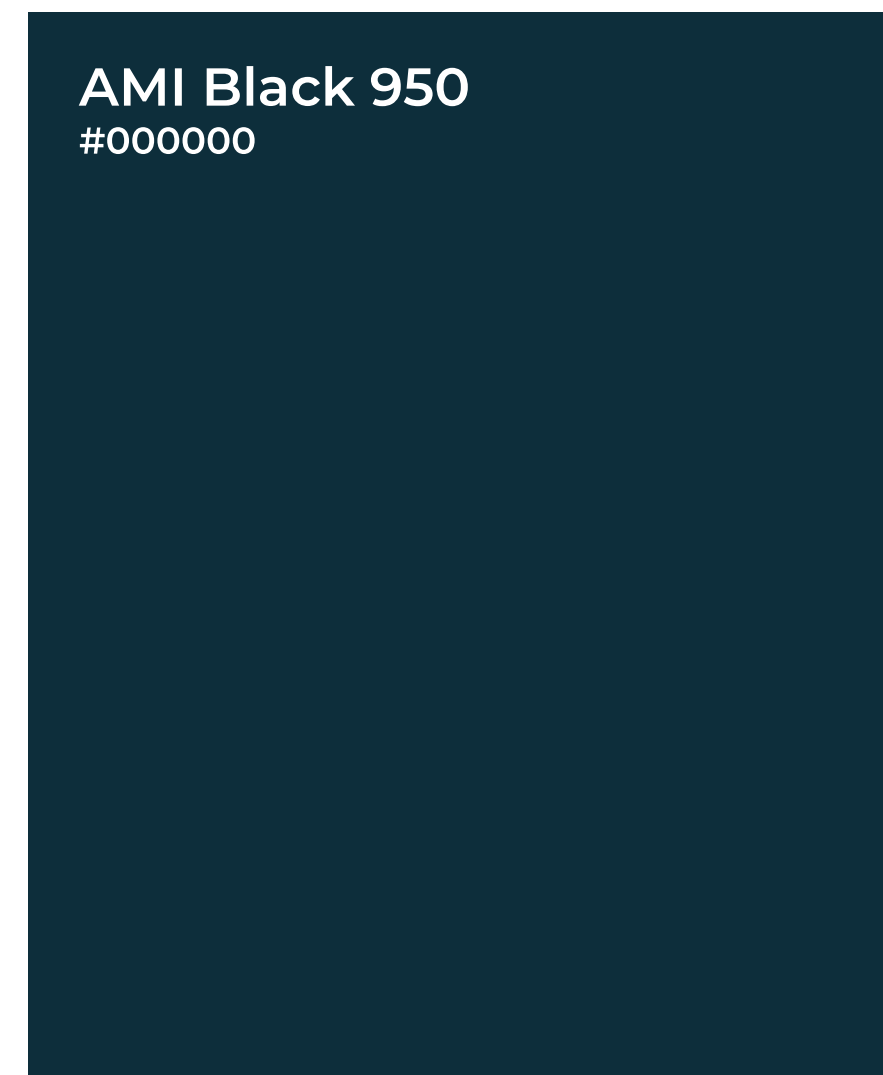


#### AMI Rainbow

カメラ・光・瞬間・時間という概念をカラーとして表現する。

---

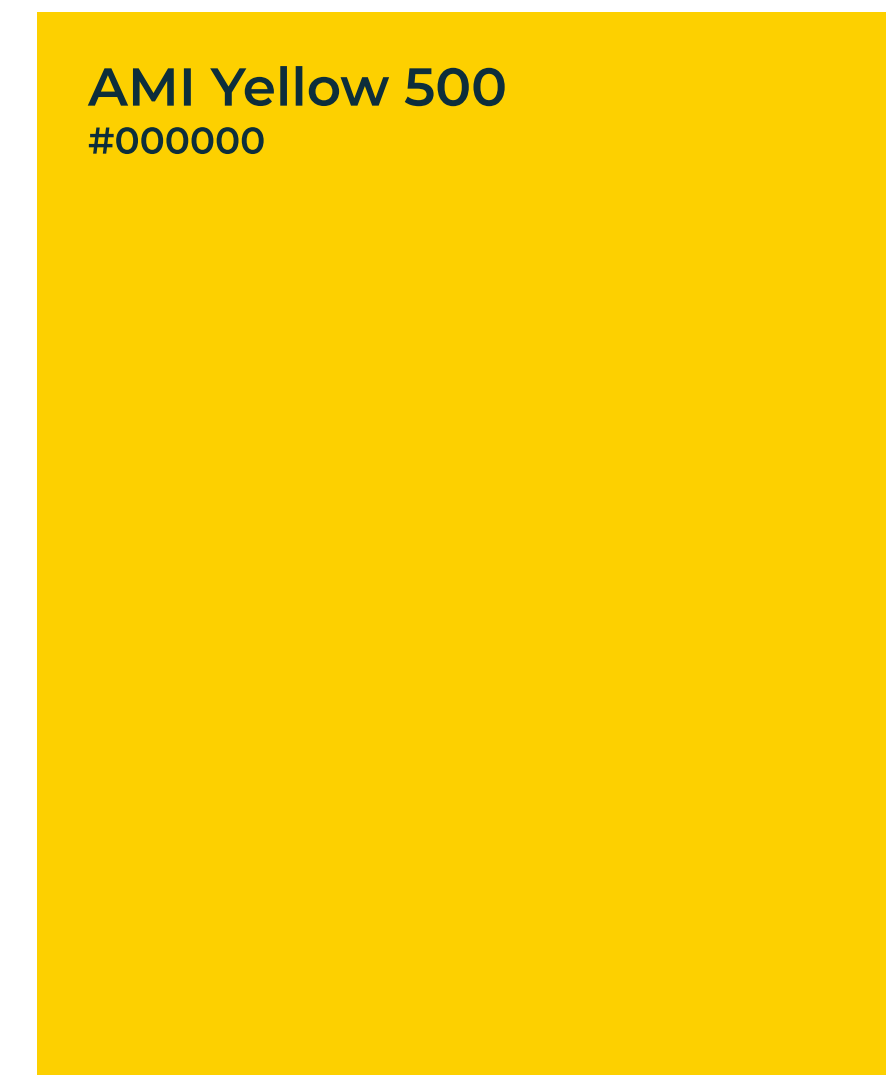
### ▼ Brand Color



#### AMI Black

写真は多くの色を含む媒体。  
写真を引き立たせるために、  
無彩色に近い黒をPrimaryとして定義。

### ▼ Brand Color



#### AMI Yellow

AMI PHOTOが切り取る瞬間 (光) を表す色。  
人のぬくもり・光を示す黄色を  
アクセントとして定義。

## Logo / Color

### ■ロゴのカラーバリエーション

視認性を著しく損なうような背景に配置するなど、カラー・グレー版の使用が難しい場合には、単色での使用が可能です。適宜ご利用ください。

濃い背景に配置する必要があるが、カラーバリエーションが使える場合には、White+Color版の仕様が可能です。

AMI PHOTOのイメージを崩さないものを使用してください。

ここに示すのは、通常のロゴですが、すべてのロゴにおいて同様のルールです。

### ■フルカラー

通常はこのカラー形式を使用してください。



### ■単色:ブラック

フルカラーが使えない場合に使用してください。グレーの利用も可とします。



### ■グレー

グレーの表現が可能な場合に使用します。単色Blackの利用も可とします。



### ■カラー / ホワイト

濃色の上に配置する場合に使用。



### ■単色:ホワイト

濃色上に配置+カラーが使えない場合に使用。グレー / ホワイトの利用も可とします。



### ■グレー / ホワイト

濃色の上に配置+カラーが使えない場合に使用します。単色Blackの利用も可とします。



## Logo / Color

### ■ロゴと背景色

使用するロゴのカラーについては右のイメージを参考にしてください。視認性を損なわない範囲で適宜ご利用ください。

どの形でも背景に溶け込んでしまう場合は、下に白いボックスを敷いた状態で使用してください。

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

 AMI PHOTO

## Logo / How to Use

### ■ロゴと背景色

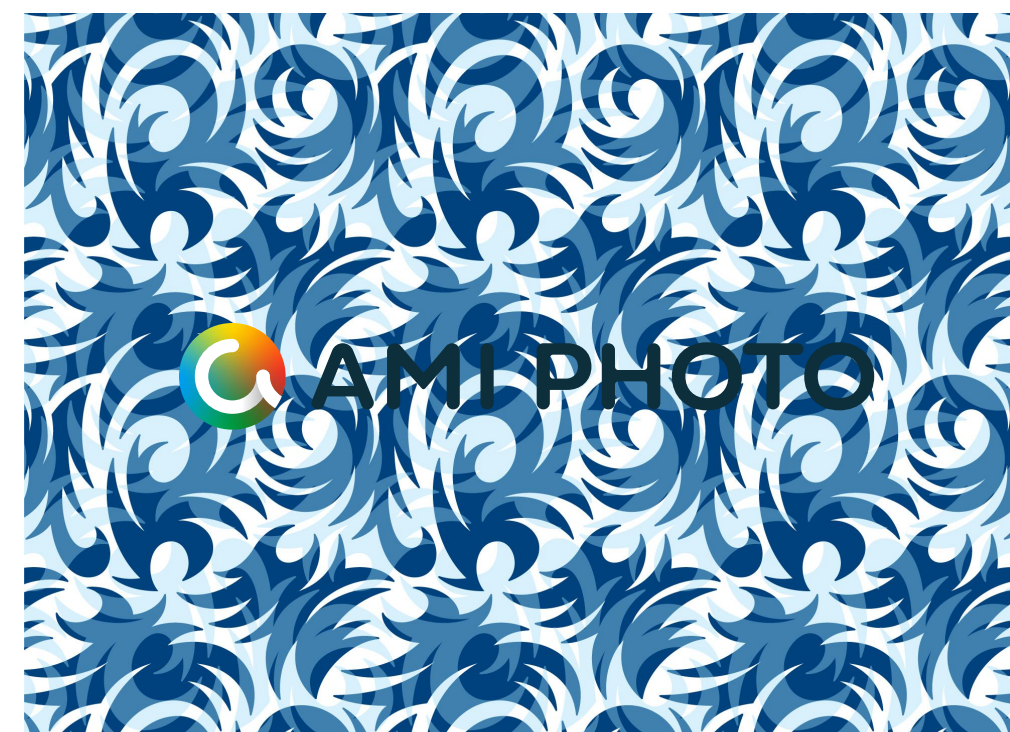
ロゴの視認性を確保するための表現方法のサンプルです。

著しく視認性を損ねるような背景に設置する場合は、色の展開例や、本サンプルをもとに調整をしてください。

これらの処理は一例です。

ロゴの視認性を確保するための処理を、適宜行うようにしてください。

### ■NG例



背景が複雑で、ロゴが見づらい



画像が細かく複雑で、視認性が悪い



画像の濃淡と、ロゴの色が抵触して視認性が下がってしまう。

### ■OK例



背景に白背景を置き、視認性を高める



背景画像の上に、濃いベタを配置して透過させるなどの処理をする。



背景画像の上に、白いベタを配置して透過させるなどの処理をする。

## Logo / How to Use

### ■ロゴと背景色

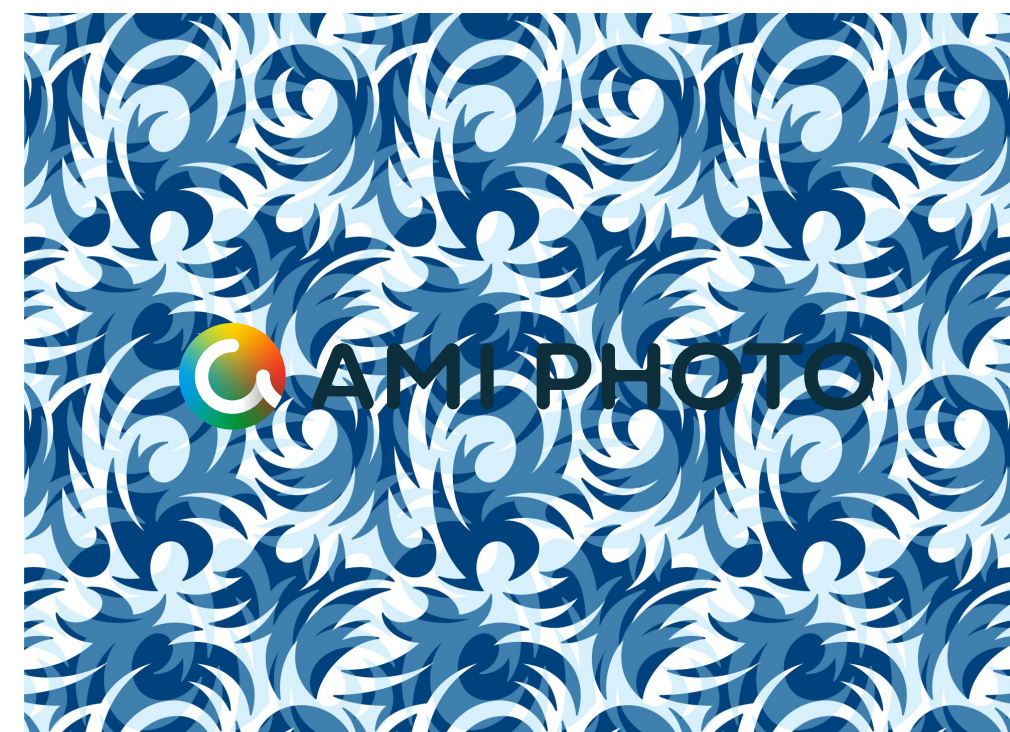
ロゴの視認性を確保するための表現方法のサンプルです。

著しく視認性を損ねるような背景に設置する場合は、色の展開例や、本サンプルをもとに調整をしてください。

これらの処理は一例です。

ロゴの視認性を確保するための処理を、適宜行うようにしてください。

### ■NG例



背景が複雑で、ロゴが見づらい



画像が細かく複雑で、視認性が悪い



画像の濃淡と、ロゴの色が抵触して視認性が下がってしまう。

### ■OK例



背景に白背景を置き、視認性を高める



背景画像の上に、濃いベタを配置して透過させるなどの処理をする。



背景画像の上に、白いベタを配置して透過させるなどの処理をする。

## Logo / NG

### ■禁止事項

ロゴは正しく使用することで本来の機能を発揮し、望ましいイメージを訴求することが可能です。一貫したブランドイメージ構築のためにも、右のような使用は避けてください。

■変形しないでください



■ロゴの書体を変えないでください



■規定されている以外にバランスを変えないでください



■視認性が悪くなる背景に配置しないでください



■アウトライン表示をしないでください



■ロゴの太さや大きさ・形を変えないでください



■指定色以外の色を使用しないでください



■他の要素を追加したり、規定余白内に要素を配置しないでください



■ロゴを切って使用しないでください

